

緑樹

発行者

清川村立緑中学校

清川村煤ヶ谷 1933

Tel. 046-288-1241

ホームページアドレス

<http://www.kiyokawa-edu.jp/sch/midori-jhs/>

先人の教え
「善人であれ、そして、良い行いをしなさい」

校長 市川 美紀子

師走とはよく言ったものです。本校でも教職員が至る所で走り回っています。そして、子ども達も三年生から二年生にバトンを上手に渡そうと、いい意味の緊張感が漂っています。

子ども達にとって、小規模校であるが故の忙しさはあるものの、日々の活動や行事は、意義の大きいものであると言いつける存在であります。私には、代々、先輩たちが紡いできたものを守るに留まらず、より良くしていくこうとする、子ども達の思いが伝わってきます。

さて、中学生という多感な時期、

寒さを吹き飛ばす熱戦！

スノーパークアップ開催

十月三十日(水)～十一月二十日(水)にかけて、昼休みを利用したフットサル大会「スノーパークアップ」を開催しました。各学年の生徒や教員がチームを結成し、それぞれが優勝を目指して寒さに負けない熱戦を繰り広げました。コート外では応援の生徒も大

自分では理に合わないことをしても、大人に対する理想像はしっかりと持っています。大人は、言っていることと行動とが伴わなければ、大いに疑問視されますが、成長途上にある子どもには、まま見られることです。

以前、子どもたちが大人に望むことの順位を目にしたことがあるのですが、タイトルそのもの。「善人であること」そして、「良い行いをすること」が圧倒的に多かったのです。「子どもを侮らない」とは、よく言われることですが、彼らはよく分かっているなど、頼

もしく感じました。

子どもたちは、大人には当然、大人であることを望んでいます。それは、生きる上で良き模範となる大人の姿です。子どもたちの身近にいる大人の一人として、自己内省の日々です。

心が変われば

態度が変わる

態度が変われば

行動が変わる

行動が変われば

習慣が変わる

習慣が変われば

人格が変わる

人格が変われば

人生が変わる

子どもたちの喜ぶ顔、悲しげな表情、はじける笑い声、真剣な眼差し、怒った顔、全てを受け止め明日に繋がります。

皆様からの誠実な言葉やご支援、本当にありがとうございます。お健やかに改暦なさいますことを衷心よりお祈り申し上げます。



新たな歴史を創造する！
後期生徒会活動開始

十月三十一日(木)に生徒会本部役員選挙が行われました。会長には岩澤拓生さん(2年)、副会長には山口莉奈さん(2年)と今野巴那さん(1年)が選出されました。また、十一月六日(水)の学校朝会で、書記として平田萌夏さん(2年)と佐藤志織さん(1年)が、会計として大

矢竜大さん(2年)と後藤幹太さん(1年)がそれぞれ任命され、正式に後期生徒会本部役員が組織されました。各専門委員会も新しいメンバーが決まり、後期の生徒会活動が本格的に始動しました。

後期からは三年生からバトンを受け継ぎ、二年生が生徒会を引っ張っていく中心となります。今までの先輩が築き上げた緑中学校の伝統を守るとともに、さらによりよい学校を目指していくために、「新たな歴史を創造する」意識をもって活動に取り組んでいます。その取り組みの一つとして、後期から評議員会を定例化し、生徒会本部役員や学級委員、専門委員会の委員長がそろって話し合う場が設定されました。お互いの活動について活発に討論が行われました。これからの緑中学校について真剣に考え、さらによりよい学校に協力し合いながら、生徒会活動を活性化させていってくださることでしよう。



勢集まり、学校が持つ大きなエネルギーを感じる事ができました。大会を通して、競技をおこなう生徒や応援をする生徒、そして、大会を運営する生徒それぞれが自らの力を発揮し、学年を超えて大会を盛り上げる姿勢が見られました。